

1. 学校管理課 Tel : 049-224-6109

(1) 校種間連携教育

【令和5年度事業予定】

- ・川越市の教育の一層の充実のため、小・中学校等の校種間連携を進める。
- ・教育委員会と学校が車の両輪として教育を推進するために、定期的に学校訪問を行い、学校と教育委員会の意思疎通を図り、教育の充実に資する。

構成 小中連携 \_\_\_\_\_ は令和5年度の委嘱校

学 校 名	
1	川越第一中 初雁中 富士見中 <u>山田中</u> 川越第一小・ <u>中央小</u> ・ <u>仙波小</u> 川越小・ <u>月越小</u> ・ <u>今成小</u> <u>中央小</u> ・(泉小)・ <u>月越小</u> ・ <u>今成小</u> <u>山田小</u>
2	<u>野田中</u> 城南中 大東中 大東西中 <u>大塚小</u> ・ <u>泉小</u> ・ <u>大東東小</u> ( <u>仙波小</u> )・ <u>武蔵野小</u> ・ <u>新宿小</u> ・ <u>大塚小</u> <u>大東東小</u> ・ <u>武蔵野小</u> ・ <u>大塚小</u> 大東西小
3	東 中 南古谷中 <u>芳野中</u> 古谷小・ <u>南古谷小</u> <u>南古谷小</u> ・牛子小 <u>芳野小</u>
4	<u>高階中</u> 砂 中 福原中 <u>高階小</u> ・ <u>高階北小</u> ・(高階西小) ( <u>仙波小</u> )・(牛子小)・ <u>高階小</u> <u>高階北小</u> ・福原小
5	<u>高階西中</u> 寺尾中 高階南小・ <u>高階西小</u> (高階小)・高階南小・寺尾小
6	<u>霞ヶ関中</u> 霞ヶ関西中 <u>霞ヶ関小</u> ・ <u>霞ヶ関南小</u> <u>霞ヶ関南小</u> ・ <u>霞ヶ関西小</u>
7	霞ヶ関東中 <u>川越西中</u> <u>霞ヶ関北小</u> ・ <u>霞ヶ関東小</u> <u>霞ヶ関北小</u> ・ <u>川越西小</u>
8	名細中 <u>鯨井中</u> 名細小・広谷小 <u>上戸小</u>

※1 \_\_\_\_\_ 線は、同じブロックで卒業生が2つ以上の中学校に分かれて進学する小学校

※2 ( ) は、左の中学校との連携事業に関する訪問等を受ける際の所属ブロック主たる所属ブロックは、校名に ( ) の付いていないブロックとする。

特別支援教育連携

学校名
市立特別支援学校、初雁中、富士見中

※ 市立特別支援学校は、川越市の特別支援教育のセンターとして、他の小・中学校とも随時、必要に応じて連携する。

**【令和4年度事業実績】**

- ・各学校が年度当初に計画を立て、年度末に報告を行い、PDCAサイクルによる継続的な改善を行った。その結果、小・中学校で9年間を見通した共通の「目指す児童生徒像」の研究や合同で教科等の研修を行い、教育課程の連携を中心とした実践に移行してきた。

**(2) かわごえミドルリーダー研修**

**【令和5年度事業予定】**

- ・ミドルリーダーとして、教育に対する識見を高め、学校課題の分析と解決プランの立案、組織マネジメント、人材育成、危機管理等に必要な資質の向上を図ることを通して、学校運営を推進する人材を育成する。
  - ① 年間9回、3年で計27回の研修を行う。1年だけの受講も可。
  - ② 各年度の研修参加人数は15人程度とする。
  - ③ 「かわごえ異業種体験研修」に替わり平成27年度より始まり、今年度9年目を迎える。

**【令和4年度事業実績】**

- ・年間9回の研修を実施し、13人が参加した。

**(3) オールマイティーチャーター配置事業**

**【令和5年度事業予定】**

- ・各学校の課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実やいじめの早期発見、学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進する。

**【令和4年度事業実績】**

- ・小学校4校に4人、中学校9校に9人、計13人を配置した。

**(4) 地域人材活用事業**

**【令和5年度事業予定】**

- ・川越市立小・中・特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開できるように、地域の方々と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組の一層の充実を図る。

**【令和4年度事業実績】**

- ① 実施回数……268回
- ② ご協力いただいた地域の方々……564人
- ③ 事業の一例……読み聞かせ・中学校運動部活動指導等

**(5) 語学指導補助員（日本語指導）配置**

**【令和5年度事業予定】**

- ・小・中学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒等を対象に、語学指導補助員を派遣することにより、日本語の能力を向上させ、学習への理解を深め、学校生活により順応させることを図る。

**【令和4年度事業実績】**

- ① 市内小・中学校に在籍する児童生徒117人に語学指導補助員20人を派遣した。
- ② 派遣回数は延べ1,158回であった。

### 2. 教育指導課 Tel : 049-224-5483

#### (1) 川越市中学生社会体験事業

##### 【令和5年度事業予定】

・キャリア教育の一環として、学校・地域・企業・行政などが連携・協力をしながら職場体験活動を実施し、学校から社会への移行のために必要な基礎的資質や能力の育成を図り、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけ、たくましく豊かに生きる力を育むことをねらいとする。

①実施対象・・・中学校1年生または2年生の生徒

②実施場所・・・学区内の事業所を最優先とする。

③実施期間・・・各学校が設定した2～3日間

(令和5年度については、事業所の意向によって1日のみの体験も可とする。)

※受入れ可能な事業所の確保が困難な場合には、事業に代わるキャリア教育を各学校で実施する。

##### 【令和4年度事業実績】

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

#### (2) トップアスリートふれあい事業

##### 【令和5年度事業予定】

・近隣大学のスポーツ分野で活躍する教員・監督・コーチや学生を各市立小学校に招き、一緒に体を動かすことを通して、運動の楽しさを児童が実感するとともに、日常生活の中で主体的に運動、スポーツに親しむ態度や習慣を育成する。

①体育の授業やクラブ活動における指導及びふれあい活動

②全校の朝マラソンや持久走大会に向けての指導及びふれあい活動

##### 【令和4年度事業実績】

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

#### (3) 科学わくわくラーニングプログラム～①小学生科学体験事業

##### 【令和5年度事業予定】

・川越市の子どもたちが、科学に関する講演や実験・実習を通し、科学に対する興味関心を高め、知的好奇心や探求心を深めるとともに、各校での報告をおして体験を広めることを目的とする。

①実施対象・・・市立小学校から各1名を基本とする

②実施場所・・・川越市立教育センター

③実施時期・・・夏季休業中(令和5年8月23日予定)

④講師・・・大学教授等

##### 【令和4年度事業実績】

・市立小学校6年生27名が参加し、生物分野や化学分野に関する実験を中心に体験活動を実施した。

①実施日・・・令和4年8月24日

②実施場所・・・川越市立教育センター

③参加児童・・・市立小学校6年生27名

#### (4) 科学わくわくラーニングプログラム～②理科実験助手派遣事業

##### 【令和5年度事業予定】

- ・理科実験助手を配置し、体験的な学習及び個別指導などを充実させ、児童の実験・実習の技能の向上、理科に対する興味・関心、知的好奇心や探究心を高める。  
(小学校16校、中学校6校)
- ①理科の実験・実習の準備や補助
- ②理科室・理科準備室の整備等

##### 【令和4年度事業実績】

- ・16人の理科実験助手を、小学校14校、中学校6校に配置(重複有)
- ・20校に各20日、合計400回の配置を実施。1回の配置は4時間。

#### (5) 川越市中中学生学力調査

##### 【令和5年度事業予定】

- ・義務教育の学習内容の定着状況を把握し、教育の成果を検証する川越市独自の調査とするとともに、進路指導の充実に資する。また、各市立中学校及び教育委員会が教育指導上の課題を把握し、指導方法の工夫改善を図る資料とする。
- ①調査対象・・・各市立中学校の第3学年生徒全員
- ②調査対象教科・・・国語・数学・社会・理科・英語
- ③調査実施予定日・・・第1回9月5日、第2回10月5日、第3回11月7日

##### 【令和4年度事業実績】

- ・第3学年を対象に、第1回調査を9月5日、第2回調査を10月5日、第3回調査を11月2日に実施した。

#### (6) 学校図書館学校司書配置

##### 【令和5年度事業予定】

- ・学校図書館教育の充実を図るために、学校司書を配置する。学校司書は、概ね以下の活動を行う。
- ①学校図書館図書の入入れ・廃棄・配架・貸出し・返却等の事務
- ②学校図書館の美化・整理事務
- ③児童生徒の読書意欲の喚起や資料提供
- ④児童生徒や教職員への資料提供

##### 【令和4年度事業実績】

- ・合計28人の学校司書を各市立小・中・特別支援学校の全校に配置(重複有)
- ・学校司書の研修会を年3回開催

### (7) ネットパトロール事業

#### 【令和5年度事業予定】

- ・各市立学校を対象に、児童生徒をネット上のいじめ等から守るために、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視をするとともに、24時間体制でいじめ等の相談や情報提供を受け付けるインターネット上の窓口を開設し、適切に対処する。
- ・学習者用データを閲覧し、児童生徒及びその関係者の生命・心身・財産に対して脅威となるものや脅威につながる恐れのあるものを発見し、適切に対処する。

#### 【令和4年度事業実績】

- ・各市立学校（56校）を対象に、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視を通年で行った。
- ・101件の報告（目視投稿件数13,338件）  
悩み（学校生活） 0件 いじめに関する投稿 0件  
不適切な内容（個人情報に関する内容） 101件  
※学校に報告、指導・対応済み
- ・各市立学校を対象とした学習者用コンピュータに関わるネットパトロールを行い、適切に対処した。  
リスク4（いじめに繋がる記載があるもの） … 6件  
リスク3（いじめに繋がる恐れがある記載のあるもの） … 369件  
リスク2（学習に関連がなく、不適切な記載のあるもの） … 76, 840件  
リスク1（問題のないもの） … 393, 604件

### (8) 学校教育の情報化の推進

#### 【令和5年度事業予定】

- ・リーディングDXスクール事業を通して、ICTを効果的に活用した授業等の実践を各市立小・中学校に展開していく。
- ・教員のICT活用指導力を向上させ、ICTを活用した授業の実施を推進するため、管理職や情報教育主任、新任教員等の受講対象者に合わせた研修を実施していく。
- ・学校教育における情報機器の安定的な活用のため、GIGAスクール運営支援センターを整備・運用していく。

#### 【令和4年度事業実績】

- ・教育委員会全体を横断的に見渡して、第二次川越市学校教育情報化推進計画を策定した。
- ・各市立小・中学校において配備されたICT機器を学習においてどのように活用していくか、「ICTの力でe-授業を実現しよう」リーフレットを作成・配付し、児童生徒の情報活用能力を育む授業実践を促進した。
- ・各市立小・中学校のすべての学級でICTを効果的に活用した授業が行われるよう、管理職研修会、キックスタートプログラムコア研修会、情報教育主任研修会、プログラミング教育研修会等を実施した。
- ・学校教育における情報機器の安定的な活用のため、GIGAスクール運営支援センターの整備・運用及び学習者用コンピュータの故障・破損時に対応する保険への加入を行った。
- ・学習者用コンピュータの活用を推進するため、川越市教職員専用「川越市GIGAポータルサイト」を開設し、活用事例やリーフレットの共有を図った。

**(9) 川越市立中学校部活動指導員配置事業**

**【令和5年度事業予定】**

- ・ 川越市立中学校における部活動の指導体制の充実及び教職員の負担軽減を図るため、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第78条の2に規定する部活動指導員を配置する。  
配置予定人数・・・6名（文化部2名、運動部4名）

**(10) 川越市立小学校水泳指導等業務委託**

**【令和5年度事業予定】**

- ・ より効率的で効果的な水泳指導をするため、一部の学校において、民間事業者への業務委託による水泳授業を行う。令和5年度は、モデル校2校での取組を行う。  
①モデル1・・・仙波小学校 5、6年生  
②モデル2・・・南古谷小学校 5、6年生

**学校保健**

**①令和5年度 学校保健関係行事**

○ 児童生徒定期健康診断	(4月～6月)
○ 児童生徒心臓検診	(4月～6月)
○ 教職員健康診断	(4月～8月)
○ 保健主事研修会・養護教諭研修会	(4月～3月)
○ 学校飲料水検査	(5月)
○ B型肝炎予防接種（養護教諭）	(6月～3月)
○ 学校環境衛生一斉検査	(前期6月～10月、後期1月～2月)
○ 学校プール水質検査	(6月～8月)
○ 川越市学校保健会総会	(7月)
○ 小児生活習慣病予防検診	(7月～9月)
○ 教室等の空気検査	(7月～8月)
○ 学校環境衛生検査器具取扱い講習会	(7月)
○ 学校歯科保健優良校地区審査会	(9月)
○ 砂場の細菌検査	(9～10月)
○ 就学時健康診断	(10月～11月)
○ 歯科保健指導	(10月～1月)
○ 歯科保健指導者研修会	(11月)
○ 埼玉県学校健康教育推進大会	(1月)
○ 学校保健会理事会	(3月)

## II 学校教育 教育指導課

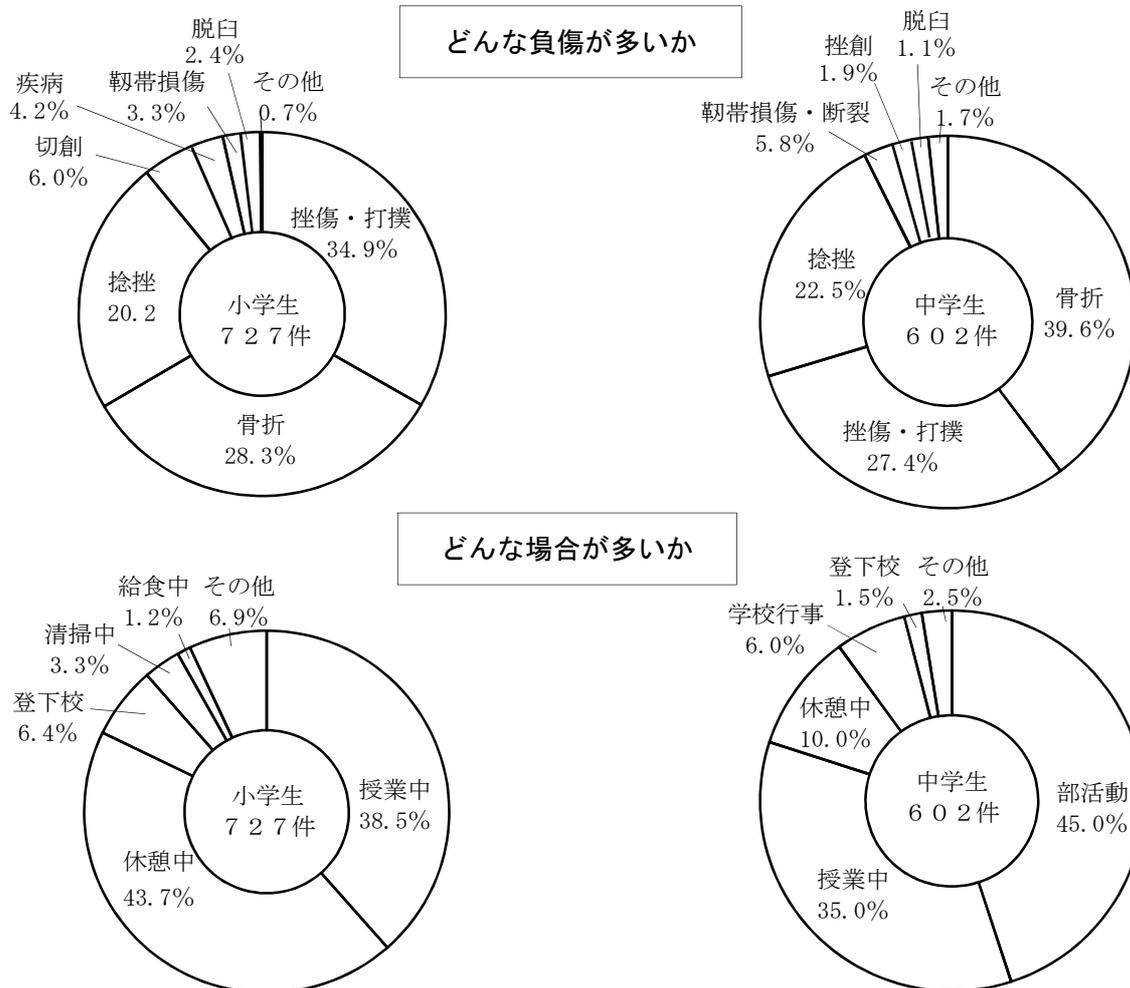
### ②令和4年度 日本スポーツ振興センター災害共済給付状況 (医療費)

(単位：円)

月別	小学校		中学校		特別支援学校・市立高校		件数計	金額計
	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額		
4	105	954,184	101	1,130,042	28	173,410	234	2,257,636
5	49	411,866	79	573,559	12	47,912	140	1,033,337
6	76	419,558	58	716,920	4	16,203	138	1,152,681
7	132	1,331,193	126	897,361	33	390,800	291	2,619,354
8	124	767,916	103	596,048	10	63,544	237	1,427,508
9	45	546,349	65	405,922	8	37,190	118	989,461
10	120	1,783,268	170	1,529,385	25	103,972	315	3,416,625
11	60	506,734	105	1,043,597	17	475,943	182	2,026,274
12	117	833,537	111	879,504	8	49,578	236	1,762,619
1	102	734,965	82	476,476	29	140,216	213	1,351,657
2	—	—	—	—	—	—	—	—
3	265	2,071,024	167	1,234,800	35	352,890	467	3,658,714
計	1,195	10,360,594	1,167	9,483,614	209	1,851,658	2,571	21,695,866

※令和3年度給付総計 2,480件 20,736,509円  
 令和2年度給付総計 2,285件 17,575,461円  
 平成31年度給付総計 2,928件 21,741,535円  
 平成30年度給付総計 3,303件 23,986,796円  
 平成29年度給付総計 3,503件 26,764,935円

### ③令和4年度 事故発生件数 (日本スポーツ振興センターにかかわる事故による)



④児童生徒の体位（令和4年度）

性 別	学 校 別	年 別	項目	身 長 (cm)				体 重 (kg)			
				市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値
男	小 学 校	1	116.9	5.1	116.7	116.7	21.9	3.9	21.9	21.7	
		2	122.6	5.2	122.6	122.6	24.6	4.4	24.6	24.5	
		3	128.5	5.5	128.7	128.3	28.1	6.1	27.8	27.7	
		4	133.7	5.7	134.2	133.8	31.5	6.8	31.5	31.3	
		5	139.6	6.4	139.5	139.3	35.9	8.6	35.0	35.1	
		6	145.7	7.3	146.7	145.9	40.1	9.3	39.8	39.6	
	中 学 校	1	153.2	8.1	154.0	153.6	45.1	10.6	45.8	45.2	
		2	160.5	7.5	160.6	160.6	50.1	10.4	50.3	50.0	
		3	165.2	6.5	165.6	165.7	54.4	10.8	54.6	54.7	
	高 校	1	169.6	—	168.8	168.6	61.1	—	58.9	59.0	
		2	171.3	—	170.3	169.8	61.1	—	60.6	60.5	
		3	171.6	—	171.2	170.8	62.1	—	62.4	62.4	
	特 別 支 援	1	165.1	—	—	—	61.4	—	—	—	
		2	170.9	—	—	—	61.7	—	—	—	
		3	167.6	—	—	—	73.5	—	—	—	
女	小 学 校	1	116.0	3.5	116.5	115.8	21.5	3.5	21.5	21.2	
		2	121.8	4.3	121.9	121.8	24.0	4.3	23.8	23.9	
		3	128.0	5.1	127.9	127.6	27.4	5.1	26.9	27.0	
		4	134.0	6.3	134.5	134.1	30.8	6.3	31.0	30.6	
		5	141.3	7.7	140.8	140.9	35.7	7.7	34.8	35.0	
		6	147.5	8.1	147.3	147.3	40.6	8.1	40.0	39.8	
	中 学 校	1	151.7	5.8	152.4	152.1	44.2	7.9	44.3	44.4	
		2	155.0	5.5	154.8	155.0	48.0	8.0	48.2	47.6	
		3	156.2	5.3	156.5	156.5	50.2	8.0	50.3	50.0	
	高 校	1	157.6	—	157.3	157.3	50.9	—	51.5	51.3	
		2	158.2	—	158.3	157.7	51.6	—	53.0	52.3	
		3	158.8	—	158.4	158.0	52.5	—	53.0	52.5	
	特 別 支 援	1	155.3	—	—	—	47.4	—	—	—	
		2	152.8	—	—	—	56.1	—	—	—	
		3	154.8	—	—	—	56.4	—	—	—	

※県、全国の平均値は、令和3年度学校保健統計調査報告書（埼玉県総務部統計課発行）による。

※調査対象：県・全国は全国児童生徒数の一部を抽出。

※市の平均値については、令和4年度のもの。

⑤児童生徒の「新体力テスト」平均値

## II 学校教育 教育指導課

(令和4年度)

種目名	学校		小学校						中学校		
	学年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
50m走(秒)	川越市	男子	11.64	10.74	10.19	9.84	9.47	9.06	8.63	7.91	7.48
		埼玉県	11.54	10.72	10.16	9.77	9.36	8.96	8.56	7.92	7.50
	埼玉県	女子	11.96	11.05	10.58	10.11	9.63	9.28	9.17	8.81	8.66
		川越市	11.82	11.02	10.44	10.00	9.55	9.21	9.05	8.76	8.62
立ち幅とび(cm)	川越市	男子	112.80	124.66	134.42	144.79	150.98	160.77	181.61	196.69	211.38
		埼玉県	117.12	127.48	137.32	145.65	154.48	165.64	184.26	202.45	216.09
	埼玉県	女子	104.67	118.77	126.07	137.42	146.53	152.78	162.40	166.95	171.34
		川越市	109.81	120.37	130.40	139.80	149.33	157.22	167.33	173.98	177.05
ボール投げ(m)	川越市	男子	7.68	9.89	12.79	16.15	18.33	21.59	17.50	20.45	23.53
		埼玉県	7.80	10.55	13.50	16.38	19.48	22.73	17.60	21.10	23.93
	埼玉県	女子	5.61	7.17	8.96	10.87	12.60	14.01	10.89	12.68	14.13
		川越市	5.64	7.41	9.23	11.17	13.17	15.03	11.64	13.39	14.72
握力(kg)	川越市	男子	8.78	10.82	12.28	14.11	15.75	18.48	24.25	29.45	33.93
		埼玉県	9.04	10.71	12.37	14.13	16.28	19.13	24.03	29.65	34.41
	埼玉県	女子	8.35	10.39	11.77	13.65	16.00	18.31	21.71	24.26	25.62
		川越市	8.59	10.21	11.81	13.72	16.26	19.04	21.65	24.12	25.79
上体起こし(回)	川越市	男子	11.83	14.74	16.99	18.58	19.94	21.73	25.07	28.40	30.88
		埼玉県	12.40	15.16	17.25	19.11	20.84	22.61	24.88	28.23	30.81
	埼玉県	女子	11.05	14.49	15.79	17.87	19.57	19.98	21.95	24.84	26.43
		川越市	11.96	14.80	16.71	18.50	20.08	21.16	22.14	24.84	26.54
長座体前屈(cm)	川越市	男子	27.53	28.75	29.77	32.86	34.01	35.17	41.60	46.34	50.03
		埼玉県	27.40	29.20	30.99	33.00	35.29	37.84	42.91	47.86	51.74
	埼玉県	女子	29.89	31.99	32.87	37.31	38.42	41.20	44.76	49.18	50.91
		川越市	29.88	32.30	34.57	37.27	40.29	43.25	46.43	50.13	53.03
反復横とび(点)	川越市	男子	26.98	29.92	33.21	37.94	41.19	43.45	47.27	49.73	53.93
		埼玉県	28.06	31.86	34.90	39.10	42.98	45.90	48.40	51.89	55.15
	埼玉県	女子	25.82	29.29	31.70	36.12	39.61	41.37	43.35	44.69	46.10
		川越市	26.95	30.61	33.54	37.41	41.05	43.51	44.91	46.82	48.19
20mシャトルラン(指数)	川越市	男子	19.08	27.43	36.07	43.12	47.68	56.47	—	—	—
		埼玉県	21.45	29.97	37.11	43.76	51.32	58.45	—	—	—
	埼玉県	女子	16.19	22.62	28.02	34.32	38.67	45.94	—	—	—
		川越市	18.26	24.37	29.55	35.46	42.45	47.22	—	—	—
持久走(分秒)	川越市	男子	—	—	—	—	—	—	7分04秒78	6分32秒21	6分12秒06
		埼玉県	—	—	—	—	—	—	7分05秒00	6分34秒21	6分18秒06
	埼玉県	女子	—	—	—	—	—	—	5分04秒11	4分52秒08	4分48秒59
		川越市	—	—	—	—	—	—	5分03秒18	4分50秒89	4分49秒79

※小学校は、20mシャトルラン。中学校は、持久走。

※持久走の距離は、男子が1,500m、女子が1,000m。

3. 学校給食課 Tel : 049-223-6035

施設名	所在地	電話	ファクス	建築年度
菅間学校給食センター	菅間 18 - 9	223-3038	223-0935	平成17年
菅間第二学校給食センター	菅間 18 - 1	229-6670	229-5105	平成29年
今成学校給食センター	今成 2 - 35 - 5	223-0891	226-4556	昭和44年 ※H5改築

令和5年度学校給食センター別給食数及び担当校一覧

(令和5年5月1日現在)

センター名	給食数	小・中別	対象校
菅間学校給食センター (※給食規模：12,000食)	11,202食	小学校 20校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
菅間第二学校給食センター (※給食規模：12,000食)	7,067食	小学校 12校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・福原・霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・霞ヶ関西・川越西・名細
	4,757食	中学校 11校 特別支援学校 1校	初雁・城南・芳野・東・南古谷・高階・高階西・寺尾・砂・福原・山田・特別支援学校
今成学校給食センター (※給食規模：6,000食)	4,711食	中学校 11校	川越第一・富士見・野田・大東・大東西・霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・名細・鯨井
合計	27,737食	55校	

(1) 学校給食・食育の充実

① 食育の推進

【令和5年度事業予定】

- ・児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図る。
- ・給食内容や食生活指導等を中心とした「給食だより」を発行し、家庭と連携した食育の指導の推進を図る。

【令和4年度事業実績】

- ・小学校2年生約2,800人を対象に、食に関する指導を行った。
- ・学校からの依頼による各授業への食に関する指導、給食指導、保健委員会講話などを68回実施した。
- ・「給食だより」を年4回発行した。

② 給食内容の充実

【令和5年度事業予定】

- ・「学校給食摂取基準」を基に学校給食の提供を実施し、栄養バランスの取れた献立内容の充実を図る。
- ・安全な食材の確保に努め、より良い学校給食の提供を行う。
- ・川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努める。
- ・アレルギー対応食について、安全で確実な実施体制を保持し、内容の充実を図る。

### 【令和4年度事業実績】

- ・川越産米約249tの使用を実施し、使用割合は100%である。
- ・米、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、人参、枝豆、とうもろこしなど18品目の川越産農産物を使用した。
- ・アレルギー対応食の申請を児童78人、生徒8人から受けた。(令和4年5月1日時点)

### ③ 試食会

#### 【令和5年度事業予定】

- ・児童生徒の保護者等に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実を図るために実施する。

#### 【令和4年度事業実績】

- ・小学校2校で試食会を実施した。

### ④ 学校給食施設の整備

#### 【令和5年度事業予定】

- ・PFI方式で整備した菅間第二学校給食センターの維持管理状況について検査する。
- ・菅間学校給食センター及び今成学校給食センターの適切な維持管理を行い、安全・安心な学校給食の提供を行う。

#### 【令和4年度事業実績】

- ・PFI方式で整備した菅間第二学校給食センターの維持管理状況について検査を行った。
- ・菅間学校給食センター及び今成学校給食センターの施設設備の改修を計画的に実施した。

### ⑤ 食材の安全確保、学校給食食材の放射性物質検査

#### 【令和5年度事業予定】

- ・安全・安心でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努める。
- ・学校給食の安全性について市民の皆様にも更に安心していただくため、食材の放射能検査機器を用いて、毎日3品目程度の食材と1食分の完成品について、放射性物質の自主検査を実施する。

#### 【令和4年度事業実績】

- ・570品目の食材と190食分の完成品について放射性物質の自主検査を実施した結果、すべて不検出となっている。

学校給食費

・給食費は、金融機関による口座引き落とし（一部納付書払い）により、児童生徒の保護者から徴収している。

① 学校給食費（令和5年度）

区分	月額	年額	徴収月数	給食日数	1食当たり単価	備考
小学校	4,350円	47,850円	11か月	189日	253円17銭	平成27年4月改定
中学校	5,250円	57,750円	11か月	190日	303円94銭	平成27年4月改定

② 1食当たり単価（令和4年度実績・保護者負担額）

区分	主食	牛乳	副食	計
小学校	46円71銭	200cc 53円49銭	151円64銭	251円84銭
中学校	58円55銭	200cc 53円49銭	191円90銭	303円94銭

学校給食摂取基準

・学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。  
 現行の基準は令和3年4月に改定され、次のように定められている。

区分	小学校児童の場合			中学校生徒の場合
	低学年（6～7歳）	中学年（8～9歳）	高学年（10～11歳）	
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%			
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20～30%			
ナトリウム（食塩相当量）(g)	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
カルシウム (mg)	290	350	360	450
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA (μg RAE)	160	200	240	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	25	30	35
食物繊維 (g)	4以上	4.5以上	5以上	7以上

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。  
 亜鉛……………児童(6～7歳)2mg・(8～9歳)2mg・(10～11歳)2mg、生徒(12～14歳)3mg

## Ⅱ 学校教育 教育センター

### 4. 教育センター Tel : 049-235-7591

- (1) 名称 川越市立教育センター
- (2) 所在地 川越市古谷上6083-10 (電話 049-235-7591・ファクス 049-230-1023)
- (3) 沿革
- |            |                                                                           |
|------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 昭和56年 8月1日 | 川越市立教育研究所準備室を設置する。                                                        |
| 昭和61年 4月1日 | 川越市立教育研究所を開設する。                                                           |
| 平成12年 4月1日 | 川越市教育総合相談センター(リバーラ)を開設する。                                                 |
| 平成15年 4月1日 | 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所に組織改編される。管理係、研修係、教育相談係を置く。                             |
| 平成19年 4月1日 | 組織改編に伴い係を廃止し、管理担当、研修担当、教育相談担当を置く。                                         |
| 平成21年 4月1日 | 旧川越市立古谷東小学校を教育研究所施設とする。                                                   |
| 平成22年 4月1日 | 川越市立教育研究所を廃止し、川越市立教育センターを設置する。併せて、川越市立教育センター分室(リバーラ)を設置する。                |
| 平成27年 4月1日 | いじめ相談直通電話を教育センター分室(リバーラ)から移設する。                                           |
| 令和元年10月1日  | 川越市立教育センター分室(リバーラ)を教育センター第一分室(リバーラ)とし、あけぼの・ひかり児童園旧園舎に川越市立教育センター第二分室を設置する。 |
- (4) 業務内容
- ＜センター研修及び学校の要請に基づく研修に関すること＞
- ① 各経験者研修(臨時的任用教員研修、初任者研修、指導力スキルアップ研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修、20年経験者研修)や各教科研修等の企画・運営
- ＜教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること＞
- ① 学力向上に関する調査・研究
  - ② 小学校外国語活動・外国語科・中学校英語に関する調査・研究
  - ③ 不登校に関する調査・研究
  - ④ 特別支援教育推進に関する調査・研究
- ＜教育に関する資料の収集及び提供に関すること＞
- ① 図書、研究物の収集整理に関すること
  - ② 学習指導関係資料の収集整理に関すること
  - ③ 雑誌、パンフレット等の収集整理に関すること
  - ④ 上記の資料等の利用、提供に関すること

### (1) 教職員の資質向上

#### 【令和5年度事業予定】

- ・経験者研修、特定研修、専門研修、特別研修(教育フェスタKAWAGOE)の充実を図る。

【令和4年度事業実績】

令和4年度川越市主催研修・埼玉県主催研修参加者一覧

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部研修を中止した。

		研修区分	研修概要	参加者数(人)
川越市主催	1	経験者研修	教員の経験段階に応じて職務遂行に必要な知識・技能等の習得を図る研修である。	488
	2	特定研修 (指定)	教育活動の充実及び組織的・機能的な学校運営を図るため、指定された教員に対して実施する。担当者の職務遂行に必要な専門的知識・技能の習得を図ったり、川越市としての教育の在り方を担当者に伝達して各学校に広めたりする研修である。	3,870
	3	専門研修 (希望研修)	川越市の実態を踏まえ、各教科等において、専門的知識・技能の習得を図るとともに、幅広い実践的指導力の向上を目指す研修である。自らの資質向上のために希望して参加できる。	267
	4	管理職研修	校長、教頭等の管理職や管理職候補者を対象とした研修である。	311
	5	要請研修	学校の要請に応じて支援援助し、指導力の向上を図るための研修である。	1,458
	6	特別研修	川越市の教育の充実のために、学校や教職員等の優れた実践や研究の成果を広く発信する場、一人ひとりの教職員が主体的に学ぶ研修である。	544
川越市合計				6,938
埼玉県主催	総合教育センター	特定研修(推薦)		10
		管理職研修(3事業)		29
		専門研修(希望)		1
		年次研修		24
		要請研修		0
		総合教育センター小計		64
	各課研修	人権教育課		127
		義務教育指導課		0
		高校教育指導課		0
		保健体育課		121
		特別支援教育課		21
		生徒指導課		0
		小中学校人事課		63
		県立学校部県立学校人事課		1
教職員採用課		0		
各課小計		333		
埼玉県合計				397
川越市・埼玉県合計				7,335

※その他、県教委や民間等の研修に、本人の希望や市教委の推薦(または選考)により参加する研修がある。

## II 学校教育 教育センター

### (2) 英語指導助手の配置事業の充実と活用

#### 【令和5年度事業予定】

- ・英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、「聞くこと」「話すこと」等の技能を伸ばすため、市立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に配置されている英語指導助手の活用方法の充実を図る。
- ・英語指導助手を対象とした研修会や全学校への英語教育推進訪問を実施し、外国語活動・外国語科の指導方法の工夫・改善、児童生徒とのよりよい接し方等について、英語指導助手の資質向上を図る。

#### 【令和4年度事業実績】

- ・現地2人、KET2人、JET10人、派遣契約17人の英語指導助手を配置した。

#### <訪問実績>

- ・英語指導助手31人
- ・英語指導助手との共同授業による1日平均授業時数(時間) 小学校 5.0 中学校 4.2
- ・英語指導助手の1校あたりの年間訪問日数(日) 小学校 98.7 中学校 76.1
- ・英語指導助手の年間訪問日数(日)  
小学校 3,159 中学校 1,674 市立川越高等学校 147 市立特別支援 13 合計 4,993

#### 英語指導助手配置状況の推移

(単位:人)

	H3	H4 ~7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18 ~21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
JET	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6	9	10
KET	2	3	5	5	6	7	7	8	10	8	5	5	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
現地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	3	5	4	5	3	3	4	4	5	5	5	5	5	3	2
業務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	9	11	13	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
派遣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	16	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17
合計	3	4	6	7	8	9	10	11	13	15	17	19	21	21	21	21	21	22	23	24	24	30	30	30	31	31

※JET(語学指導等を行う外国青年招致事業) KET(川越市姉妹都市交流事業) 現地(川越市在住外国人)

### (3) 科学わくわくラーニングプログラム~小・中・大学連携理科ふれあい事業

#### 【令和5年度事業予定】

- ・理科の授業等に大学の教員・大学院生・大学生を派遣し、実験や観察を行い、児童生徒の興味・関心、意欲を醸成する。(3大学と連携し、各市立小・中学校長からの申請に基づき、必要に応じて派遣)
  - ①授業内容に応じた実験・観察、発展的な実験・観察
  - ②特別活動、総合的な学習の時間等における、児童生徒の興味・関心に応じた実験・観察

#### 【令和4年度事業実績】

- ・小学校12校、中学校1校で事業実施
- ・830人の児童生徒が参加

委嘱学校研究等一覧

1. 川越市教育委員会研究委嘱校（2年目）

学校名	研究の内容	発表予定日	研究主題
①新宿小学校	学力向上	11月28日	個別最適な学びと協働的な学びを実現する算数科授業 ～ICTの効果的な活用を通して～
②南古谷小学校	学力向上	11月17日	自他を尊重し合い、よりよい生活づくりに主体的に 参画する児童の育成 ～合意形成のよさを実感することのできる 学級活動の充実～
③霞ヶ関南小学校	学力向上	11月10日	児童一人一人が学ぶ喜びを実感できる授業づくり ～「主体的・対話的で深い学び」を実現する 学習指導の工夫を通して～
④霞ヶ関東小学校	学力向上	1月26日	友達と協力し、思考力・表現力を高め合う“太陽の子” を目指して ～「情報活用能力の育成」を図るICTの活用実践～
⑤広谷小学校	学力向上	1月23日	集団の一員として、自ら考え、自ら活動する 広谷っ子の育成 ～子供の思いを大切にした 特別活動の実践を通して～
⑥野田中学校	学力向上	11月10日	学力向上＝授業改善×学級づくり ～課題解決に向けた話し合い活動の充実～
⑦寺尾中学校	学力向上	9月29日	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善 ～生徒一人ひとりの学ぶ意欲を引き出し、 基礎学力の充実を図る工夫～
⑧霞ヶ関東中学校	学年・学級 経営	10月24日 10月25日 10月27日	自主的・実践的な集団活動を通して、生徒一人一人の 「生きる力」の育成 ～積極的な話し合い活動の充実～

2. 川越市教育委員会研究委嘱校（1年目）

学校名	研究の内容	研究主題
①川越第一小学校	学力向上	自信をもって発信できる児童の育成 ～他者との対話を通して～
②川越小学校	その他	豊かなかかわり合いの中で、今と未来に生きる ～自分が好き、ひとが好き、運動が好き～
③霞ヶ関西小学校	学力向上	新時代に対応し、未来を創造できる児童の育成 ～進んで考えを伝え合い、学び合う国語科の授業づくり～

※委嘱学校研究校は2年計画で行っている。

2年目の8校は令和4年度から令和5年度までの委嘱学校研究校、1年目の3校は令和5年度からの委嘱学校研究校

3. 文科省委託事業（埼玉県教育委員会再委託事業）

学校名	事業名
新宿小学校 今成小学校 福原小学校 大東東小学校	令和5年度幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業
川越西中学校 川越西小学校 霞ヶ関北小学校	GIGAスクールにおける学びの充実事業 リーディングDXスクール事業 (1人1台端末とクラウド環境を活用した 効果的な教育実践の創出・モデル化)

## II 学校教育 教育センター分室

### 5. 教育センター第一分室(リバーラ) Tel : 049-234-8333 教育センター第二分室 Tel : 049-224-7788

- (1) ①川越市立教育センター第一分室(リバーラ)  
②川越市立教育センター第二分室
  - (2) 所在地 ①川越市的場2649-1(電話 049-234-8333・ファクス 049-234-8337)  
②川越市宮下町1-19-12(電話 049-224-7788)
  - (3) 沿革  
昭和39年 川越市教育相談室を川越小学校内に開設する。  
昭和53年 中央小学校内に移設(川越小学校校舎改修のため)する。  
昭和55年 初雁中学校内に移設(中央小学校校舎改修のため)する。  
昭和56年 川越小学校内に移設(川越小学校新築に伴い)する。  
昭和58年 電話相談室を川越小学校内に開設する。  
平成元年 学校カウンセラー室を川越小学校内に開設する。  
平成6年 学校適応指導教室を中央公民館内に開設する。  
平成12年 川越市教育総合相談センター・リバーラを開設する。  
平成15年 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所所管となる。  
平成18年 いじめ相談直通電話を開設する。  
平成22年 川越市立教育センター分室(リバーラ)に名称を変更する。  
平成25年 いじめ相談電子窓口を開設する。  
平成27年 いじめ相談直通電話を川越市立教育センターに移設する。  
令和元年 川越市立教育センター分室(リバーラ)を教育センター第一分室(リバーラ)とし、あけぼの・ひかり児童園旧園舎に川越市立教育センター第二分室を設置する。
  - (4) 設置の目的  
児童生徒の多様な悩み等に対して、本人、保護者及び教職員にその望ましい在り方や解決について援助し、不適応を改善するとともに、それぞれの人格の成長及び自己実現を図る。
  - (5) 教育相談の内容等
    - ① 相談内容
      - いじめ・不登校についての相談
      - 学習・発達についての相談
      - 言葉についての相談
      - 非行・問題行動についての相談
      - 友達等学校生活についての相談
      - 性格・行動・情緒についての相談
      - 療育・しつけ等についての相談
      - 就学に関する相談
    - ② 相談受理対象者  
川越市内に居住する幼児児童生徒及びその保護者並びに川越市立学校教職員
    - ③ 相談日時  
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後5時)
    - ④ 電話相談  
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後4時)
    - ⑤ 教育支援室(つばさ教室)※小学生及び中学生対象教室  
<開設日及び開設時間>
      - ・開設日 月曜日から金曜日(祝休日を除く)
      - ・開設時間 午前9時30分～午後3時<通室までの手順及び手続き>
      - ・面接相談→体験通室→校長と相談のうえ申込→通室申請→通室決定
    - ⑥ 教育支援室(小学生学習支援室)  
<開設日及び開設時間>
      - ・開設日 月曜日から金曜日(祝休日を除く)
      - ・開設時間 午前9時～正午<通室までの手順及び手続き>
      - ・面接相談→体験通室→校長と相談のうえ申込→通室申請→通室決定
- (川越市立教育センターにおいて開設)
- ① いじめ相談直通電話  
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後5時)  
土曜日・日曜日・祝休日(12月29日～1月3日を除く)、(受付時間 午前9時～正午)
  - ② いじめ相談電子窓口  
川越市公式ホームページから電子メールで相談する。

### (1) 不登校対策の推進

#### 【令和5年度事業予定】

- ・不登校児童生徒へのきめ細かな支援や対応として、「不登校児童生徒支援プラン」に基づき、さわやか相談員等の配置や学生支援員の派遣、教育支援室の充実、校内学習室の設置、不登校サポートセミナーの開催等を実施する。
- ・社会福祉等の専門的な知識・経験を有するスクールソーシャルワーカーを活用するとともに、教育センター第二分室の活用を図る。

#### 【令和4年度事業実績】

- ・臨床心理士を週1回、教育センター第一分室（リベアラ）に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を実施できた。
- ・いじめ・不登校対策検討委員会において、不登校の長期化への対応に向けた校内研修用のスライド資料及び「校内教育支援センター（校内学習室）設置及び運営の手引き」を作成し、活用について各市立小・中学校へ周知することができた。

### (2) 教育相談の充実

#### 【令和5年度事業予定】

- ・教育に関する悩みや心配等を抱えている保護者や小学生、中学生等の支援を行う。
- ・全市立中学校に配置している、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みをもつ生徒が相談しやすい教育相談体制を推進する。
- ・スクールカウンセラーや教育センター第一分室（リベアラ）の臨床心理士、スクールソーシャルワーカーなど、専門的な知識を有する人材を活用し、児童生徒、保護者に対する教育相談体制の充実を図る。

#### 【令和4年度事業実績】

- ・リベアラにおける教育相談は、延べ3,506件あった。そのうち面接相談の件数は、3,173件、電話相談173件、いじめ相談直通電話21件、いじめ相談電子窓口3件、定期相談136件だった。臨床心理士の指導・助言を得ながら、より適切な相談活動を行うことができた。
- ・全市立中学校に1人ずつ配置したさわやか相談員が、児童生徒、保護者等延べ13,647人の相談に対応した。
- ・小・中学校に配置されているスクールカウンセラーが、児童生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、延べ6,084回の相談を行った。

### (3) 特別支援教育の充実

#### ① 一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実

##### 【令和5年度事業予定】

- ・インクルーシブ教育システムの構築に向け、多様な学びの整備や児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を図るため、学級運営支援員や特別支援教育支援員を配置するとともに、就学相談や特別支援教育に関する研修の充実に努める。

##### 【令和4年度事業実績】

- ・各校からの報告によると、通常の学級に在籍する児童生徒の中で、いじめ及び不登校等生徒指導上の対応や、学習障害（LD）、注意欠如多動性障害（ADHD）、自閉症スペクトラム（ASD）などの発達障害等で個別の配慮や支援を必要としている児童生徒数は、年々増加している。令和4年度3学期末時点で、通常の学級で配慮を要する児童数1,020人 通常の学級で配慮を要する生徒数477人。
- ・通常の学級で配慮を要する児童生徒や、各学校の実態に応じて2～4日の範囲で、学級運営支援員を配置した。
- ・特別支援学級でも通常の学級でも、個々の教育的ニーズに対応する児童生徒数は多い状況で、人的環境を整えることで、学校運営を支援することができた。

#### ②就学支援の充実

##### 【令和5年度事業予定】

- ・幼児や児童生徒のよりよい学びの場と支援の提供のため、各関係機関と情報交換を行い、就学支援委員会の意見をもとに、本人及び保護者との就学相談の一層の充実を図る。

## Ⅱ 学校教育 教育センター分室

### 【令和4年度事業実績】

- ・就学相談が必要な児童生徒に対して、諸検査の実施や学校訪問による観察、就学前施設への聞き取り等を通して、状況を的確に把握し教育的ニーズに応じた就学先の意見を導き出した。
- ・就学支援委員会で出された意見と異なる就学先を希望する保護者に対しては、継続の相談を行い、教育的ニーズに応じた就学先を決定できるようにした。
- ・就学支援委員会実施回数 11回 就学相談実施人数 335人

### ③特別支援教育の理解・啓発の推進

#### 【令和5年度事業予定】

- ・教職員に対する特別支援教育に係る研修を充実させ、特別支援教育への理解と啓発を図る。
- ・保護者・地域・関係機関向けのセミナーの開催や特別支援学級授業公開を積極的に行い、より多くの方への特別支援教育の理解に努める。

#### 【令和4年度事業実績】

- ・特別支援教育に係る管理職等研修会、特別支援教育コーディネーター研修会、特別支援学級新担当教員研修会、特別支援学級の担当者養成研修会、通級指導教室担当者研修会等、特別支援に係る8つの研修を実施した。
- ・保護者向けセミナーの参加人数 17人
- ・特別支援学級授業公開の参加人数 261人

### さわやか相談室

#### (1) 川越市さわやか相談員の活動場所及び活動内容

- ① 活動場所…主に全市立中学校に設置されているさわやか相談室
- ② 活動内容…相談室における教育相談、小学校訪問、不登校児童生徒の家庭訪問など

#### (2) 相談内容

- ① いじめや不登校の問題をはじめ、友人関係や性格・行動等、児童生徒の心の悩みの相談
- ② 児童生徒のことで悩んでいる保護者の相談

#### (3) 相談日時

月曜日から金曜日（各学校の相談室で定めた時間）

学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）	学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）
川越第一中学校	223-8022	砂 中 学 校	246-1322
初 雁 中 学 校	225-8022	福 原 中 学 校	247-0022
富士見中学校	248-6722	大 東 中 学 校	247-1322
野 田 中 学 校	241-2322	大 東 西 中 学 校	248-1722
城 南 中 学 校	248-6822	霞ヶ関中学校	231-7322
芳 野 中 学 校	226-8722	霞ヶ関東中学校	232-0622
東 中 学 校	235-2622	霞ヶ関西中学校	233-3722
南古谷中学校	235-1722	川越西中学校	233-6622
高 階 中 学 校	243-2122	名 細 中 学 校	231-8822
高階西中学校	243-8122	鯨 井 中 学 校	233-6822
寺 尾 中 学 校	247-0522	山 田 中 学 校	226-5022

特別支援学級

1. 知的障害特別支援学級：知的な障害のある児童生徒を対象に設置

(小学校)

	学級数		学級数
川越第一小学校	1	川越小学校	2
中央小学校	1	仙波小学校	2
武蔵野小学校	1	新宿小学校	1
大塚小学校	1	泉小学校	1
月越小学校	1	今成小学校	1
古谷小学校	1	南古谷小学校	1
牛子小学校	1	高階小学校	1
高階南小学校	1	高階北小学校	1
高階西小学校	1	寺尾小学校	1
福原小学校	2	大東東小学校	1
大東西小学校	1	霞ヶ関小学校	2
霞ヶ関南小学校	1	霞ヶ関北小学校	1
霞ヶ関西小学校	1	名細小学校	2
広谷小学校	1	山田小学校	1

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
初雁中学校	1	富士見中学校	2
城南中学校	1	東中学校	1
高階中学校	2	寺尾中学校	1
砂中学校	1	福原中学校	1
大東中学校	1	霞ヶ関中学校	1
霞ヶ関西中学校	1	名細中学校	1
山田中学校	1		

2. 自閉症・情緒障害特別支援学級：自閉症や情緒に障害のある児童生徒を対象に設置

(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越第一小学校	2	川越小学校	3
中央小学校	2	仙波小学校	1
武蔵野小学校	2	新宿小学校	2
大塚小学校	2	泉小学校	3
月越小学校	2	古谷小学校	3
南古谷小学校	2	牛子小学校	1
高階小学校	2	高階南小学校	1
高階北小学校	2	高階西小学校	2
寺尾小学校	1	福原小学校	2
大東東小学校	2	大東西小学校	1
霞ヶ関小学校	2	霞ヶ関南小学校	1
霞ヶ関北小学校	1	霞ヶ関東小学校	2
霞ヶ関西小学校	2	名細小学校	3
上戸小学校	1	広谷小学校	1
山田小学校	2		

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越第一中学校	1	初雁中学校	2
富士見中学校	2	野田中学校	1
城南中学校	1	東中学校	1
南古谷中学校	1	高階中学校	2
寺尾中学校	1	砂中学校	1
福原中学校	1	大東中学校	1
霞ヶ関中学校	2	霞ヶ関東中学校	1
霞ヶ関西中学校	1	名細中学校	2
山田中学校	2		

## II 学校教育 教育センター分室

### 3. 弱視特別支援学級：視覚障害のある児童を対象に設置

学校名	学級数
川越西中学校	1

#### 通級指導教室

学校名	学級数	対象
川越小学校	5	通常の学級に在籍している言語や聴覚に軽度の障害がある児童
霞ヶ関小学校	2	
中央小学校	3	通常の学級に在籍している軽度の発達障害や情緒障害がある児童生徒
高階小学校	2	
霞ヶ関小学校	2	
名細小学校	1	
山田小学校	1	
富士見中学校	3	
高階中学校	1	

#### 特別支援学校

- 昭和39年4月 川越市立養護学校として開校（小学部、中学部、高等部を漸次拡張）
- 昭和47年4月 県立川越養護学校開校に伴い、小学部、中学部を県立に移管する。
- 平成22年4月 川越市立特別支援学校に名称変更（現在の対象は、高等部のみになっている。）

6. 市立川越高等学校 Tel : 049-243-0800

- (1) 名称 川越市立川越高等学校
- (2) 所在地 旭町2-3-7 (電話 049-243-0800・ファクス 049-247-6828)
- (3) 沿革

市立川越高等学校は、平成14年度に川越商業高等学校から校名変更し、同時に普通科・情報処理科・国際経済科の3学科に再編を行った。

普通科では、ここ数年、大学・短大の現役進学率が65%前後となり、商業系学科では「川商」創立から98年の歴史と伝統を活かし、引き続き専門資格の高い取得率と進学・就職実績を上げている。

卒業生は2万6千人を超えており、さまざまな分野で活躍をしている。

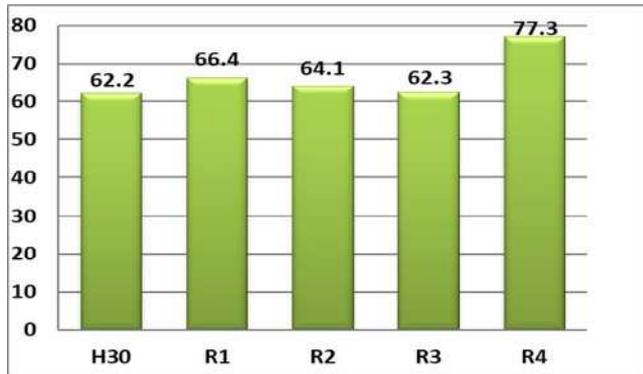
(1) 進路希望の実現

【令和5年度活動予定】

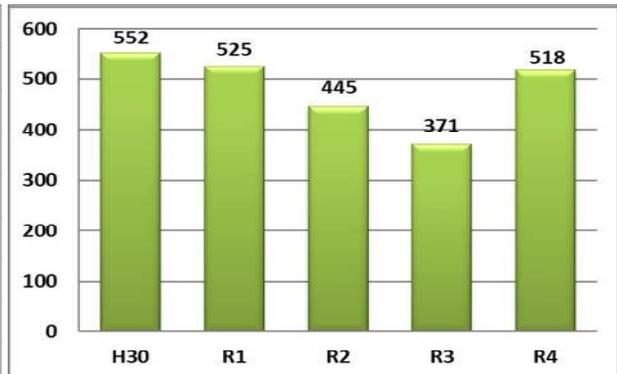
- ・平成24年度の1年生から導入したすべての学科の35人少人数学級編制及び入学者選抜における「地域特別選抜」を引き続き実施する。
- ・3年生では進路希望に合わせた科目を選択し、一人ひとりにきめ細かな学習指導を実施する。

【令和4年度活動実績】

進路指導実績 (下グラフ：普通科の大学・短大進学率)



検定試験1級合格者数



○主な進学先 (令和5年3月実績)

法政大、中央大、武蔵大、駒澤大、専修大、日本大、東洋大、大東文化大、亜細亜大、国士舘大、帝京大、東京電機大、獨協大、東京経済大、神田外語大、洗足学園音楽大、拓殖大、埼玉医科大、東京農業大、女子栄養大、埼玉医科短大、埼玉女子短大、他

検定種目(8種)：簿記、情報処理(ビジネス情報・プログラミング)、ビジネス文書、ビジネス計算、英語、商業経済、珠算

○主な就職先 (令和5年3月卒)

防衛省、国税庁、警視庁、東京消防庁、埼玉県警察、川越市役所、鶴ヶ島市役所、さいたま市消防局、埼玉西部消防組合、坂戸・鶴ヶ島水道企業団、(株)東和銀行、いるま野農業協同組合、日本郵便(株)、西武鉄道(株)、西武バス(株)、ネットトヨタ埼玉(株)、全薬工業(株)、大日本印刷(株)、東洋水産(株)、トッパン・フォームズ・オペレーション(株)、日本梱包運輸倉庫(株)、日本出版販売(株)、(株)東武ホテルマネジメント、コニカミノルタテクノプロダクト(株)、他

### (2) 部活動の充実

#### 【令和5年度活動予定】

- ・文化部と運動部で合計33部が、より高い水準をめざして活発に活動を続けている。生徒が主体性を持ち積極的に活動できるよう、充実した指導を行っていく。

#### 【令和4年度活動実績】

##### ア 運動部

###### ① 野球部

令和4年度春季埼玉県高等学校野球大会 第3位

###### ② バレーボール部（女子）

関東高等学校男女バレーボール大会 埼玉県予選 第5位

関東高等学校男女バレーボール大会 出場（47回目）

###### ③ バスケットボール部（女子）

関東高等学校バスケットボール大会 埼玉県予選 第7位

###### ④ ソフトボール部

関東高等学校ソフトボール大会 埼玉県予選 第5位

全国高等学校総合体育大会ソフトボール大会 埼玉県予選 第5位

###### ⑤ 体操部

全国高等学校総合体育大会体操競技大会 埼玉県予選 男子団体 総合6位

埼玉県高等学校体操競技新人大会 女子団体 総合6位

###### ⑥ チアダンス部

全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2022 全国大会 第4位

全日本チアダンス選手権大会 全国大会 第2位

USA School & College Nations 全国大会 第4位

###### ⑦ 柔道部

関東高等学校柔道大会 埼玉県予選 女子団体戦 第5位

関東高等学校柔道大会 出場

##### イ 文化部

###### ① 吹奏楽部

シンフォニックジャズ&ポップスコンテスト全国大会 銅賞

### (3) 中高連携の推進

#### 【令和5年度活動予定】

- ・川越市の教育の一層の充実を図るため、ICTを活用し、希望する中学校との校種間連携を進めていく。

#### 【令和4年度活動実績】

- ・校種間連携参加校を募集したところ、市内3校（寺尾中、鯨井中、富士見中）の2年生が参加することとなった。  
ICT（Google Meet）を利用して意見交換を行い、中学生には進路について考える良いきっかけとなり、本校生徒にとっても、新型コロナウイルス感染拡大防止により外部交流が困難な中、とても良い発表の場となった。
- ・市内小学生を対象に学校体験会を実施し、運動、パソコン、化学実験など高校で行われる授業等を地域の小学生に提供した。